

第3回定例会

・決算審査特別委員会質疑の中から

決算審査特別委員会質疑の中から

歳入

(質) 町税について、収入未済額は減っているが、不納欠損額が増加している。滞納状況は。

(答) 不納欠損については、死亡、生活保護の該当、転出で居住不明など、納付能力の判断を厳密な調査の上行っています。もう実在していない企業の固定資産税で、高額の不納欠損が1件あったため増加となりました。

一番金額の多い500万円程度の滞納額がある方は分納誓約とし、不納欠損にはせず継続しています。

町税の徴収対策としましては、個別の徴収、相談の他、財産や国税還付金の差し押さえなど、滞納者の実態を把握し取り組んでおります。

(質) 東日本大震災の後、復興税を住民から徴収するとうことが決まったが、どのように納められているのか。

(答) 復興特別税は、被災者

救済の財源確保、緊急に実施する防災施策費用の財源確保を目的として、復興財源確保法が平成23年12月2日に公布、施行になっております。

この復興特別税分は、道民税、町民税にそれぞれ500円ずつ上乗せをしまして、道民税が1500円、町民税が3500円と均等に割り振られております。

期間は平成26年度から35年度までの10年間となっております。金額としては、平成27年度の均等割の納税義務者2562人に500円を掛け、128万1000円が、町民税の個人分に加算されております。

(質) 住宅使用料について、予算額と調定額の1000万円以上の差の理由は何か。また、滞納状況は。

(答) 当初予算は現在の入居者の90%程度で予算を見ています。前年度の所得に対して毎年住宅料改定を行っており、収入が多くなると住宅料が値上がりするため、調定額のほうが多くなっています。

住宅料の滞納者は現在28名おり、滞納額100万円以上が3名、50万円から100万円が4名います。

国民健康保険

(質) 国保の短期証明書、資格証明書の発行の手續きは。

(答) 短期証は有効期間3カ月で、前年度の国保税に滞納があり、過去にも高額の滞納がある方に発行しています。

資格証は、前年度中の国保税の納付が全くなく、過去にも滞納がある方が対象で、病院で医療費の10割を払わなければならず、後から保険給付分を現金給付するものです。

対象者に対し、納税相談、分納の約束、財産の調査などをした上で交付を行っております。平成28年度は6名に短期証を、2名に資格証を発行しています。

(質) 医療機関の返還金問題で、351万円の残債については継続しているか。

(答) 返還金は医療機関の不当請求から生じているもので、継続して納めていただいている機関が何力所かあります。

す。金額が大きく、経営の関係もあり一回の返還額は多くはないのですが、毎月納めていただいている状況です。

公共下水道

(質) 排水設備の接続について、普及率が市街地の公共下水道では79.4%、漁業集落では75.8%とあるが、普及率向上のためどのようなPRを考えているのか、また今後の目標は。

(答) 環境の保全を広報などで宣伝啓発し、新築住宅や未設置住宅で下水道につなげていきたいと考えています。

普及率が大体70%で、下水道処理場が経営的に安定し、処理経費を使用料収入で賄えること計算しています。市街地区では75%から78%の普及率と計画していました。新築住宅は、下水道法で下水道につながるなければなりません。古い住宅は工事が困難なところもあるためです。

漁業集落では、漁業に携わっている方の関心が高く、こちらの想定以上に普及率が高くなっていると思います。

町長行政報告

(要旨)

8月発生台風の対応

9年ぶりに北海道に上陸が相次いだ3台風で、多くの市町村で大雨、土砂災害や浸水、洪水警報が発表され、本町も8月降雨量は328ミリと例年を大きく上回る降雨となり、町内排水側溝や小河川、町道に一部被害が発生し、復旧作業を進めているところであり、うち2箇所については公共災害事業として補正予算計上し、手続きを進めています。今後の気象情報に十分注意していくことを報告いたします。

農作物の生育及び収穫状況等

主力作物の秋まき小麦に、全町的に「小麦なまぐさ黒穂病」が発生し、748ヘクタールのうち116ヘクタールの圃場が廃耕、平年を下回る結果となりました。道が主体に発生要因の分析調査を進

め、まん延防止に向けた指導を行っています。

カボチャは小玉傾向から収量は平年を下回るとの報告を受けています。

基幹作物のビートの生育は、長雨の影響を受け病害も発生し、防除の徹底管理を願うところです。

酪農・畜産関係

受託乳量は、暑熱による牛のダメージ、搾乳戸数の減少により、生乳生産が伸びていない状況です。また個体販売価格については堅調な推移であります。飼料作物については、今後の天候により出来秋を期待するところです。

漁業について

北海シマエビ漁は漁獲目標8トンに対し7.7トン、価格については高単価により計画対比141%で終了の報告を受けております。

ホタテ採苗事業は一部斃死が見られる地域もありましたが、順調に稚貝を確保できる見込みです。

外海ホタテ漁業については操業計画6400トンと例年の4割減であり、6月より20

トン体制で操業しています。養殖ホタテ漁は、漁獲量は概ね計画どおり1700トンが見込まれています。

マス小定置網漁業は昨年度対比487%の338トンと順調に水揚げ、今後の来遊増に期待し、またサケ定置網はオホーツク海中部地区の来遊予想は106%と見込まれ期待を寄せているところです。

公共事業の執行状況

昨年から繰越予算工事を含め48件、事業費総額7億5200万円であり、発注率は40件、5億8600万円の83%で、早期発注に努めます。また台風被害復旧作業を急ピッチで進めています。

遠軽厚生病院の産婦人科体制

常勤医師1名が赴任し、産科診療を8月22日より開始いたしました。10月より分娩再開を目指し、また旭川医大、元勤務医の出張医についても継続して検診、診療を行うと報告を受けています。これまでの「遠軽地区地域医療連携会議」における医師招へい依頼、医師募集のポスター作

成等の活動が結びついたもので、安堵しているところです。

ふるさと納税

平成27年度の税制改正で税額控除拡充により関心が高まっていることを受け、9月1日よりインターネットのクレジット決済受付を開始し、併せてホタテ、牡蠣等の海産物、サロマン、サロマ豚等の商品を返礼品として新たに追加、魅力的な商品を揃えた受付状況は順調な滑り出しとなっております。これを機会に全国にPRして町の知名度向上と地域経済の発展を目指してまいります。



返礼品を充実させたふるさと納税(町HP)

第3回定例会

・町長行政報告

町長より行政報告がなされました。

体が発生要因の分析調査を進